

リタちゃん

どうして ごみを分けるの？



ねえ、お兄ちゃん、どうしてごみを分けなきゃいけないの？
ほくたちが住むこの美しい地球を守るためだよ。
えー？どうして？
たとえば、学校で使っている教科書やノートは何でできてるか知ってるかい。

うーん、紙でできてるんでしょ？

その紙は木から作られるんだよ。だから、使った紙を集めて回収すれば、何度でも紙製品になるし、木を切らなくてすむだろう。

ああ、そうか。

あきかんやあきびん、ペットボトルもリサイクルに生まれ変わるんだよ。

だから何でもごみにしてしまわずに、大切な資源にしなきゃいけないのね。



資源を大切に あるためだよ



東洋のハリウッド 帝国キネマ長瀬撮影所

映画制作会社「帝国キネマ長瀬撮影所」が、昭和3年、菱屋西に開設されました。
約三万平方メートルの敷地に、屋内ステージ二棟を設けた撮影所では、連日のように映画の制作が行われ、当時、東洋のハリウッドと呼ばれていました。



しかし、昭和5年9月、火災によって全焼。ふたたび撮影所が建設されることはありませんでした。
帝キネは、当時の日本を代表する映画会社でしたが、第二次世界大戦までに、制作をやめてしまいました。

みんなにもできること

市役所で「ごみ減量」に取り組む
久保さんからのお願い

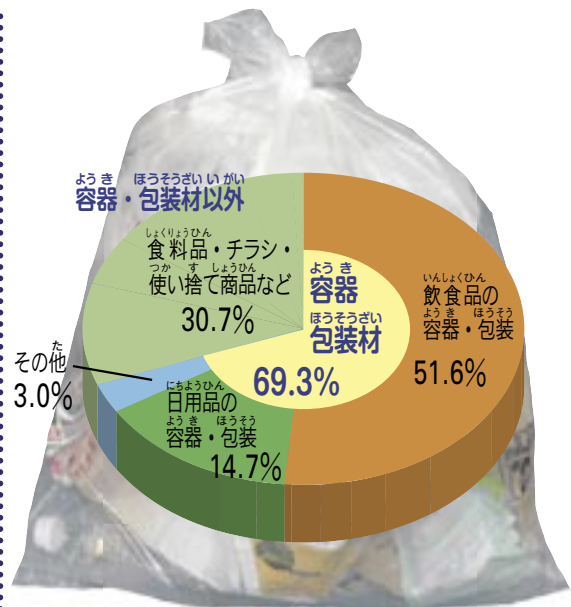


紙パック6枚でトイレトーパー1個になります。

もう一度資源として
いかそう
一番大切なことは、ごみをきちんと分けることです。
読み終わったマンガやノートなどは地域の集団回収に。飲み終わったあきかんやペットボトル、紙パックなどは、きれいに洗ってから回収ボックスなどに入れてください。
紙の場合、もう一度新聞紙やノート、トイレトーパーに変身するんですよ。
何度も使おう
資源をむだに使わないで

東大阪市では、ごみの種類によって出し方が違うのを知っていますか。
透明または半透明のごみ袋に入れて、決められた日に出す「家庭ごみ（燃えるごみ）」や「あきかんやあきびん」などは、きみたちの家の近くの決められた場所まで、清掃作業員の人が取りに行きます。
「ペットボトルや白色トレイ、牛乳パック」、「蛍光灯や乾電池」などは、スーパーマーケットや家電店にある回収ボックスで集めています。
きみの家では、きちんと分別してごみを出していますか。

家庭ごみの袋の中（東大阪市の平均）をのぞいてみたらビックリ！
なんと約7割が容器や包装材（プラスチック類・紙類）。資源としてリサイクルできるものが、こんなにも家庭ごみにもまぎれて、焼却炉で燃やされているのよ。



家庭ごみの袋の中身

分ければ資源・・・まざればごみ

「ごみを作らないようにしよう」
お店で買い物をするとき大事なことは、本当に必要なものを、よく考えてから買うこと。すぐにあきてボイ、なんてことはしないで、長く大切に使うことがごみを作らない一番の方法です。
それから、お店に買い物袋を持っていけば、レジ袋を使わなくて済みます。ごみになるものを最初から買ったり、もらったりしないようにすることが大切です。

さあ、みんなも今日から、学校や自宅で、できることを始めてみてくださいね。

シンクロナイズドスイミングで二度のオリンピックメダリストに輝いた異樹理さん（追手門学院大学職員）が6月30日、菱屋西小学校にやってきましたよ。



メダリストがやってきた

で獲得した銀メダルを披露。競技生活を振り返り、「みんなも夢や目標を持って、あきらめずにがんばって」と、子どもたちに熱いエールを送ってくれたよ。講演の後、六年生（五十人）にプールでシンクロの基本の動きを指導。最初は振り覚えののに精一杯だった子どもたちも、約一時間の特訓のおかげで、タイムシンクロがそろい始めたんだ。最後に全校児童の前で行った演技披露では、ジャンプもきれいに決まり、みんなから、盛大な拍手が送られていたよ。